

## 2 個別事業評価調書

団体名: 与謝野町

<b>事業名</b>		下谷林道舗装事業					
<b>事業の概要</b>		<p>本事業実施予定の林道及び作業道は、幅員狭小・未舗装のため林業作業車が通行困難であるため、今回の整備により作業車の円滑な通行を可能にするものである。</p> <p>&lt; 工事内容 &gt;                  林道舗装 L = 1,340.0m W = 3.0m、表層3925.0㎡、上層路盤3615.4㎡、アスカープ1238.0m、区画線工1238.0m、附帯施設工、排水施設工</p>					
		<b>事業期間</b>	平成19年度				
		<b>総事業費</b>	13,950	<b>本年度事業費</b>	13,950	<b>交付金交付額</b>	375
<b>事業評価</b>	<b>事業の必要性</b>	昨今の環境問題等に鑑み、林業の重要性が再認識されているところであるが、一方でその非経済性や厳しい労働条件などのため、年々林業従事者は減少し、森林の荒廃は進行する一方である。少なくなった林業従事者を背景に、効率的に林業を行うための環境整備は急務である。					
	<b>事業の有効性</b>	森林を適正な状態で維持し続けるために適切な手入れは欠かせないものであるため、作業を能率的かつ限られた人数で実施できる状態を整備する。					
	<b>事業の効率性</b>	今回の整備により、当林道における作業車の通行が可能となり、森林の保全及び育成が効率的に実施でき、災害防止にも大いに益するものとなる。					
	<b>具体的な成果</b>	1 府と市町村等との連携に資する成果					
		2 住民の自治意識を高める成果					
		3 リーディング・モデル成果					
		4 広域的波及成果					
5 行財政改革に資する成果							
林業従事者の負担を軽減することで、林業の活性化、ひいては地域経済の活性化に資することにより、行財政への好影響を期待するものである。							
6 その他の成果							

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。